



遠き落日 (上)・(下)

渡辺淳一【著】
角川書店 1982 年

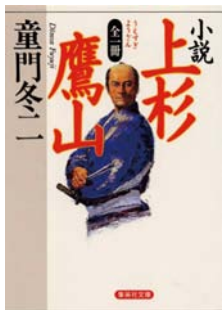
推薦者：教員 横山佳充

《紹介文》

本作品は日本人なら誰もが知っている「野口英世」を事実に基づいて描いた作品である。我々の野口英世像は身体的ハンディキャップを努力によって克服し、世界的名声を得た立身出世物語として偶像化され、道徳教育などにおいて脚色を含んで紹介されている。しかしながら、本作品の描く野口英世は、名声と称賛を希求するバイタリティに溢れながらも、エゴイスティックな人間的な欠陥を含む一人の悩める人間であった。

《レポート課題》

- ① 自分が抱いていた野口英世像と比較して、本作品を読んだ後の人物像とはどのような面に関して印象が変化しましたか。自分の意見を論じてください。
- ② 野口英世が、少年期、青年期、壮年期を経るに従い、英世の中の内面で変化したこと、変化しなかったことはなんですか。自分の受けた印象含めて論じてください。



小説 上杉鷹山

童門冬二【著】
集英社 1996 年

推薦者：教員 三野靖

《紹介文》

高邁な理想に燃え、優れた実践能力と人を思いやる心で、家臣や領民の信頼を集めた上杉鷹山（米沢藩主）。破滅の危機にあった藩の財政を立て直すべく、改革に乗り出す。現代の行財政改革や組織における改革の洞察力を与えてくれます。

《レポート課題》

「組織における改革にとって肝要なことは何か」、本書を読んだうえで、自らのこれまでの経験も踏まえて、これから社会に出るにあたっての考えを述べてください。



晏子

第1巻～第4巻

宮城谷昌光【著】
新潮社 1997 年

推薦者：教員 高木由美子

《紹介文》

大小いくつもの国が乱立した古代中国春秋時期に斉に生きた晏弱晏嬰父子の物語である。礼を実践するとはどういうことか、緊迫する国際関係の再度重なる苦境に登場人物はどう対処するのか。国の存亡の危機を救った策とは何か。著者はたくさんの中国歴史小説を書いており、余力のある学生は「重耳」、「子産」なども読み、歴史小説の醍醐味を味わってもらいたい。

《レポート課題》

歴史から現代に生きる私達が学ぶべきものは何か？貴方の論点を明確に記述し、作品に即して論じなさい。最も印象に残ったエピソード等を最低一つ記載すること。



失われた時を求めて いずれかの篇

マルセル・プルースト【著】
鈴木道彦【訳】
集英社 2006～2007 年

推薦者：教員 三宅岳史

《紹介文》

ある日突然、失われた時（＝忘れていた記憶）とともに、死をも超克するような強い飲びが〈私〉に訪れた。その正体を探究するため、〈私〉はベル・エポックのフランスを背景に、社交界、恋愛、芸術の世界を横断していく。

1 篇だけならば『スワン家の方へ』が望ましいが基本的にはどの篇を読んでもよい。文庫で分冊の場合は、その篇（そのほかに『花咲く乙女たちのかけに』、『ゲルマントのほう』、『ソドムとゴモラ』、『囚われの女』、『逃げ去る女』、『見いだされた時』の篇がある）は読みとおすこと。
ただし集英社文庫の抄訳は不可。

小説（海外）



わたしを離さないで

カズオ・イシグロ【著】
土屋 政雄【訳】
早川書房 2008 年

推薦者：教員 平野勝也

※原著『Never Let Me Go』を図書館中央館で配架しています。ご利用の分館へ図書を取寄せすることもできます。ご利用館のカウンターか図書館 HP の【MyLibrary】からお申し込みください。

《紹介文》

2017 年ノーベル文学賞を受賞した著者カズオ・イシグロ氏の代表作の一つ。臓器提供のために生まれたクローン人間の青年期が、おなじクローン人間として誕生し、介護人として生きる主人公の目を通して、過去を回想する様に描かれている。作品の冒頭では英国の普通の寄宿舎生として描かれる自分達の真実が徐々に明らかにされてゆき、その後の苦悩へと話が展開する。原文に当たり、イシグロ氏の英文の格調にも触れてください。

《レポート課題》

人間の尊厳について考えてください。



日の名残り

カズオ・イシグロ【著】
土屋 政雄【訳】
早川書房 2001 年

推薦者：教員 石川徹

《紹介文》

第二次世界大戦の前夜を通じて英国大貴族の執事として品格を旨に矜持を持って務めてきたステューブンスは、かつての同僚の女性に会いに旅にでて今までの自分の人生を振り返る機会を持つ。大英帝国の変貌と時代遅れになりつつある執事の生涯を重ね合わせて描き不思議な余韻を残す小説である。

《レポート課題》

時代の変遷と個人の生き方のずれという観点からみたとき、ステューブンの人生についてどう思うか論じなさい。



ホテル・ニューハンプシャー (上)・(下)

ジョン・アーヴィング【著】
中野圭二【訳】
新潮社 1989 年

推薦者：教員 橋本忠行

《紹介文》

「レスリングをするディケンズ」こと、アーヴィングの代表作。理想のホテルを夢見る父親、同性愛の長男、小人症の次女、難聴の三男、芸人のフロイト、熊の毛皮をかぶった友人、性同一性障害のプロフットボール選手…。それぞれ傷を抱えながらもシリアスになりすぎず、とうてい結びつかないようで理解しあう、家族の絆の物語。家族に決まったかたちはないこと、避けられない悲劇でも対処することはできること、など生きる力を教えてくれる。

《レポート課題》

この作品を読んで、あなたの家族観はどのような影響を受けましたか？作中のエピソードをひとつ取り上げながら、論じてください。



オイディプス王

ソポクレス【著】
藤沢令夫【訳】
岩波書店 1967 年

推薦者：教員 松島欣哉

《紹介文》

父を殺し母と交わるとの神託を避けるために旅に出て、スフィンクスの謎を解きテーバイの王となったオイディプスは、王国に降り掛かった不幸を取り除こうとするうちに、神託が実現された事実を知る。息を突かせぬ展開は、ライトノベルの比ではない。

《レポート課題》

神託の実現を知り、母であり妻であるイオカステは首を吊って死んだが、オイディプスは死を選ばなかった。この違いにはどのような意味があるのだろうか。考えて欲しい。



影との戦い ゲド戦記 1

アーシュラ・C・クルーグウィン【著】
清水真砂子【訳】
岩波書店 2009 年

推薦者：教員 林智一

《紹介文》

魔法が存在する世界での物語。少年ゲドは、魔法使いとなるために「ロークの学院」に入学する。自分の才能に溺れ、ライバルへの敵がい心から、禁断の魔法を用いてしまったゲドは、「影」に追われることになる…。

《レポート課題》

ゲドにとっての「影」とはなんだったのか。そして、「影」とひとつになるとは、どういう意味を持つのだろうか。河合隼雄『影の現象学』（講談社学術文庫）、河合隼雄『ファンタジーを読む』（岩波現代文庫）などを参考に考察すること。

※『影の現象学』『ファンタジーを読む』は、『河合隼雄著作集』（岩波書店）の第2巻・第4巻（図書館中央館蔵書あり）にそれぞれ収録されています。